

CHEMICAL AND ENZYMATIC TREATMENTS OF CELLULOSE AND ULVAN FROM GREEN SEAWEED *Ulva lactuca* FOR INDUSTRIAL APPLICATIONS

リゼフィ ファリス パリ

<https://hdl.handle.net/2324/7396207>

出版情報 : Kyushu University, 2025, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	Rizfi Fariz Pari (リゼフィ ファリズ パリ)
論 文 名	CHEMICAL AND ENZYMATIC TREATMENTS OF CELLULOSE AND ULVAN FROM GREEN SEAWEED <i>Ulva lactuca</i> FOR INDUSTRIAL APPLICATIONS (緑色海草 <i>Ulva lactuca</i> からのセルロースとULVANの工業的利用のための化学的および酵素的処理)
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 氏名 後藤 雅宏 副 査 九州大学 教授 氏名 神谷 典穂 副 査 九州大学 教授 氏名 井嶋 博之

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、海藻バイオマスの有効利用を目的に、環境調和型の溶剤 **DES** や酵素反応を活用し、バイオマスの工業利用の可能性を検証している。特に、**DES** の利用においては、セルロースの分解や溶解を制御しつつ選択的な抽出が可能となり、酵素的架橋反応ではウルバン含有ハイドロゲルの形成が可能であることを明らかにしている。本研究で得られた知見は、今後バイオマスの有効利用において有益な知見を与えるものであり、生物化学工学の発展に貢献する。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。